

■ ふれあい倉庫情報

【カルチャーホール】

「くらしの総合講座～薬と上手に付き合うために」

▼日時 10月9日(金) 10時～12時

▼講師 北海道消費者協会 小林孝子さん

▼主催・問合せ 町消費者協会 下段 (☎ 23 - 2706)

「千草屋 まつり」千草屋で製作された作品の展示

▼日時 10月28日(水)・29日(木) 10時～17時

▼主催・問合せ 千草屋事務所 (☎ 23 - 3417)

【多目的ホール】

「笠井嗣夫写真展 当別の四季～別天地がここにある～」

▼日時 10月7日(水)～12日(月) 10時～18時

※最終日のみ 17時まで

▼問合せ 笠井 (☎ 090 - 8636 - 7253)

「劉連仁物語～当別の山中から～」 絵本原画展

▼日時 10月14日(水)～18日(日) 9時～18時

※最終日のみ 16時まで

▼主催・問合せ グループ亜麻の会 (☎ 22 - 2362)

「シルバーのパネル展」

▼日時 10月20日(火) 9時～17時

▼内容 パネル展、無料包丁研ぎ (10時～14時)

▼主催・問合せ 町シルバー人材センター (☎ 22 - 4191)

「中川久雄絵画塾 塾生秋の作品展」

▼日時 10月25日(日)～30日(金) 10時～18時

▼内容 油彩・水彩など約50点を展示

▼問合せ 中川 (☎ 22 - 3675)

「文化祭 菊花展」

▼日時 11月1日(日)～3日(月)

▼内容 菊の花の展示など

※詳しくは新聞折込チラシで確認ください。

▼申込み 町社会教育課(総合体育館内) ☎ 22 - 3834

「ふれあいバスまつり協賛 ふれあい倉庫感謝祭」

▼日時 10月4日(日) 10時～15時

※詳しくは新聞折込チラシで確認ください。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)  
商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成21年9月13日(日)

今日は「亜麻そば祭り」に行ってきた。

札幌北区の麻生地区総合センターで「亜麻そば祭り」と言う催しが開かれて招待された。

実は最近、亜麻が静かなブームになりつつあるので少し勉強してみた。

原産地は中央アジアと言われ、人類が最初に用いた繊維植物として茎には絹にも似た優美さがあり、古い時代にはヨーロッパの貴族階級の調度品にも使用されたらしく、日本の万葉集にも登場するが北海道では、ハッカ・ラベンダー等と並ぶ特用作物で軍服など軍需品として好況だったが、終戦後は化学繊維が台頭して消えてしまったという事が判った。

然し、亜麻の種子には保健機能が注目される栄養素が入っていると判り、当別では8年程前から北国の爽やかな微風にも舞い踊り、朝咲いて夕方には散る薄紫の可憐な花をつけた亜麻の姿が当別の農村に新しい躍動を起すと感じ取って復活させた人が東裏にいた。

6月に新琴似駅前で実施された「亜麻のフラワーロード」と言う事業に当別からも亜麻の苗を持って行き、私も少しばかりお手伝いした。これは、JR学園都市線を当別まで亜麻で繋ごうという連携事業でした。

7月には当別の旧東裏小学校で、町内会長の大塚さん達が亜麻祭りを開催した時、歌唱コンクール「亜麻色の髪の乙女」などに札幌から1,700人ほどの人が来てくれた。そのお礼もあって麻生地区の商店街振興会が主催するお祭りに参加したと言う次第である。

現在、日本中で当別町が亜麻を一番多く栽培している事と、その昔、麻生も当別も亜麻工場があった事も縁で交流が盛んになりつつあり、本当に嬉しい。

亜麻そば祭りの会場には亜麻の入った“そば”だけでなく、亜麻仁油や亜麻和紙人形展や亜麻の織物作品展などに沢山の人が集まっていて、とても珍しい祭りだった。

折りしも学園都市線電化のニュースが入って来て亜麻の強い繊維が石狩川を乗り越えて、両地区をしっかりと繋いでくれる気がして楽しい一日だった。

当別町長 泉亭俊考